社会的判断における弁証法的思考

高橋知里（北海道大学大学院博士後期課程）

本研究では、東洋人の中道的判断は、二者間の対立を解消するための方略であると考える。東洋人は二者の対立という状況において、仲裁の方略として中道的判断をする。このことを確かめるために、文章内容を判断する際、議論している二者の主張について判断するような状況を想起させる条件と、文章内容は対立しているが、主張者は不明であり二者の対立を想起させる手がかりがない条件を設けた。予測によると、東洋人の中道的判断は、前者の二者の対立状況を想起させる条件において、より顕著に見られるはずである。結果は、東洋人は、文章内容を主張して言い合っている二人の人間を想起するからこそ、二者の対立を解決する戦略としての中道的判断をするという、予測のパターンと概ね一致した。